

# 舞う粉じん 健康懸念

台風10号被害 久慈や宮古の市街地



台風10号で大きな被害を受けた久慈市や宮古市の市街地では2日、乾いた泥の粉じんが宙に舞い、被災者から健康や衛生面を懸念する声が上がった。専門家によると感染症にかかる可能性もあり、マスク着用、手洗い、うがいなどの徹底を呼び掛けている。

久慈市は旭町の保健推進施設「元気の泉」でマスク長、児童250人)では同

日朝、マスク姿で登校する

石灰を配布しており、町内会単位や行政での受け取りも可能で市民らが次々と訪

れている。

久慈市は車の往来などで

舞い上がり、中にはかすんでみえるような場所もある。

校庭が冠水した同市長

も可能で市民らが次々と訪

れている。

久慈市は車の往来などで

舞い上がり、中にはかすんでみえるような場所もある。

校庭が冠水した同市長

も可能で市民らが次々と訪